



2020年11月11日

各 位

会社名 株式会社プロスペクト
代表者名 代表取締役社長 泉 信彦
(コード：3528 東証第2部)
問合せ先 総務部長 竹谷 治郎
(TEL：03-3470-8411)

営業外費用（持分法による投資損失）並びに 特別利益（負ののれん発生益）の計上に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第2四半期連結会計期間において、営業外費用（持分法による投資損失）並びに特別利益（負ののれん発生益）を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（持分法による投資損失）の内容

当社は、当社の持分法適用子会社であるRFP Wood Pellets, LLC（以下、「RFPwp」という。）の2020年1月1日から2020年6月30日に係る期間の損益についての持分割合を、2021年3月期第2四半期連結累計期間において、持分法による投資損失として営業外費用に1億80百万円計上いたしました。

なお、2020年8月12日付「営業外収益（受取配当金）及び営業外費用（持分法による投資損失）並びに特別損失（出資金評価損）の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、2021年3月期第1四半期連結会計期間においては、持分法による投資損失を2億97百万円計上しておりましたが、RFPwpの2020年1月1日から2020年6月30日に係る期間の損益が、2020年1月1日から2020年3月31日に係る期間の損益に比べ上振れしたことから、損失額が減少しております。

2. 特別利益（負ののれん発生益）の内容

当社は、2020年8月12日付「簡易株式交換によるキーノート株式会社の完全子会社化並びに主要株主の異動に関するお知らせ」に記載のとおり、2020年9月3日付で同社の全株式を取得し連結子会社といたしました。これに伴い、2021年3月期第2四半期連結会計期間において、負ののれん発生益2億80百万円を特別利益として計上いたしました。

3. 連結業績に与える影響

上記の営業外費用（持分法による投資損失）並びに特別利益（負ののれん発生益）は、本日開示の「2021年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以上